

## 成果指標設定調書

## 【成果指標の設定】

成果指標設定年度 平成30 年度

市町村名	比企地域元気アップ実行委員会			
提案事業名	比企に恋！来い！人口増加プロジェクト事業			
事業期間	平成31 年度	～	平成31 年度	
事業の必要性、目的	<p>比企地域は、埼玉県全体の人口が増加している中、急激に人口減少が進んでいる地域であり、早急に対応策をとる必要がある。</p> <p>比企地域の人口減少の特徴として①合計特殊出生率や出産期女性の有配偶率が県内で最も低いこと、②域外への人口流出が特に10代後半から20代後半に多いことから、若い世代をターゲットに事業を進めることが効果的である。</p> <p>そこで、若い世代をターゲットに①交流人口の拡大、②定住人口の拡大、③人口流出の抑制を目指した取組を進めていくことで、人口減少を食い止め、少子化を改善していく。</p>			
成果指標	(成果を検証する指標) 若者向け就職説明会の参加者数			
	(成果検証の具体的な方法) 就職説明会に参加した人数を集計する。			
	(上記の指標を設定した理由) 事業の3つの目的「交流人口の拡大」「定住人口の拡大」「人口流出の抑制」は、最終的に2つ目の「定住人口の拡大」を目指すものであることから、事業②の「比企地域人口誘導戦略事業」による成果を全体の指標とする。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (H30年11月現在)	83人	目標値 (H32年3月時点)	90人
	(施設建設等の場合)			
年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)		
住民への公表方法及び特記事項	県ホームページへ掲載する。			

## 【成果指標と構成事業の関連性】

平成 30 年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 比企地域誘客事業	ソフト 交流人口の増加に向けて、域内の事業主や個人が着地型観光ツアーを企画する際に参考となるような具体的な内容のセミナーや研修を開催し、着地型観光ツアーの実施を促し、域内外に対比企地域の魅力を発信する。 併せて比企地域元気アップ実行委員会ホームページの観光パンフレット「#とるべ」掲載ページに、観光スポットが表示された地図を掲載し、利用者の利便性を高める。	740
② 比企地域人口誘導戦略事業	ソフト 定住人口の拡大に向けて、高校生をはじめとした若者を対象にした域内の企業による就職説明会を開催し、域外の若い世代に比企地域への転入を促進するとともに域内の若い世代の定住を促進する。	410
③ 比企地域郷土愛育成事業	ソフト 人口流出の抑制に向けて、比企地域に住む若い世代が比企地域の魅力を再発見し、郷土愛を育成するため、比企の魅力である「自然(川)」と「伝統文化」を生かした子ども向けのイベントを地域団体と連携して実施する。 子どもを対象としたイベントとすることで、親世代にも比企の魅力を発信することが可能となり、地域の活性化につなげていく。	450
合計		1,600

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	事業展開にあたっては、比企地域元気アップ実行委員会の構成市町村のみではなく、地域団体や公共職業安定所等との連携強化を図り、自治体にはない集客のノウハウやアイデアを積極的に取り入れることで、より良い成果を残せる事業にしていく。
成果指標の達成見込み	県、市町村、関係団体においても地域の活性化に向けた施策や事業を各々で展開しており、それぞれが持つ強みやノウハウを持ち寄って効果的な連携が図られることで、相応の成果が得られるものと判断している。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業  
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、  
事業費の下に( )書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。